

乳児閉塞型黄疸における肝炎ウイルス感染の意義

日本大学病理 志 方 俊 夫

A. nonA-nonB 型肝炎の実験的研究

乳児の巨細胞性肝炎の原因は現在の所不明であって、B型肝炎ウイルスはじめサイトメガロ、ヘルペス、E型肝炎ウイルス等は関係なさそうである。B型肝炎と非常にその感染様式が類似しており、現在輸血後肝炎の90%をしめる nonA nonB 型肝炎は、B型肝炎ウイルスと同様に持続感染があり、又 healthy carrier もいると考えられる。従ってB型同様垂直感染があると思われるが、それが新生児にどのような肝病変をおこすか明らかでない。我々は巨細胞性肝炎が nonA nonB 型肝炎に関係しているのではないかと考えている。今年度ははじめて nonA nonB 型肝炎の血清を二頭のチンパンジーに接種して、動物に肝炎を作る事を試みたが、失敗に終わった。nonA nonB 型肝炎の血清は国立仙台病院の症例で非輸血例であるが、穿孔性十二指腸潰瘍の為の胃切の手術後に発生した典型的な nonA nonB 型肝炎の第21病日のトランスアミナーゼのピーク時の血清であった。この血清を接種されたチンパンジーはその後7カ月の間肝機能検査をつづけたが肝炎が発生したという証拠は得られなかった、隔週に行った肝生検でも肝炎像は認められなかった。

B. 新生児および乳児へのB型肝炎ワクチン接種の可能性について

B型肝炎のいくつかのマーカーは巨細胞性肝炎では見出されず、又昨年度巨細胞性肝炎の肝組織をオルセイン染色で HBs 抗原の検索を行ったがすべての症例で陰性であった。ただ稀れに小児でも急性B型肝炎がおき、臨床的には閉塞性黄疸のパターンをとる。然し組織学的に

は大人のウイルス性肝炎の像である。又一方B型肝炎ウイルスの carrier の成立には垂直感染と共に、3才位迄の幼児の水平感染が重要と思われる。それは若年成人の carrier で母親、又同胞に carrier が見出せるものは1/3以下である事、又母親がB型肝炎の急性肝炎をおこした症例と3才以下の子供を持っている場合、その70%前後がB型肝炎ウイルスの carrier になっている事からも明らかである。一般的にいって、3才迄の幼児がB型肝炎ウイルスに母親から感染するのか、他の同居者からか、或いは、他の幼児から感染するのかは不明である。一方 Gianottr 病では恐らく皮膚の落屑から感染するチャンスが充分にあるものと考えられる。この様な幼児の感染を予防し、ひいては carrier の 2/3 以上の症例をなくす為にはB型肝炎ワクチンは非常に有効と思われる。

B型肝炎ワクチンの開発は現在、不活化の実験をほとんど終り、チンパンジーを使用しての効力試験と有効性試験を行いつつある。B型肝炎ウイルスはかなり unusual なウイルスで 60°C 10時間の熱処理では、その感染性は 10^4 しか低下しない。又 98°C 2分でも感染性は完全に消失するとはいえない。精製 HBs 抗原の小型粒子 20 μ g 2回のチンパンジー接種では HBs 抗体の反応はすべてのチンパンジーに充分に得られた。PHA で 2 \times 以上の HBs 抗体を持っていると 10^8 CID₅₀ (50%チンパンジー感染量)以下の生のB型肝炎ウイルスの感染を防禦し得ることも明らかになった。今後このワクチンを医療従事者の high risk group の次には小児に於けるB型肝炎の感染予防に使用すべきであろう。

↓ **検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用 ↓
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

A. nonA-nonB 型肝炎の実験的研究

乳児の巨細胞性肝炎の原因は現在の所不明であって、B 型肝炎ウイルスはじめサイトメガロ、ヘルペス、EB ウイルス等ほ関係なさそうである。B 型肝炎と非常にその感染様式が類似しており、現在輸血後肝炎の 90%をしめる nonA nonB 型肝炎は、B 型肝炎ウイルスと同様に持続感染があり、又 healthy carrier もいると考えられる。従って B 型同様垂直感染があると思われるが、それが新生児にどのような肝病変をおこすか明らかでない。